

【ゆかりのある施設】

そんぶんきねんかん
孫文記念館 兵庫県・神戸市



1984年に開館した、日本で孫文を顕彰する記念館。もとは神戸華僑・呉錦堂の別荘で、1913年に孫文が訪問した施設です。

あいちだいがくとうあどうぶんしよいんたいがくきねん
愛知大学東亜同文書院大学記念センター 愛知県・豊橋市



孫文の支援者であった山田良政・純一郎兄弟が残した孫文や中国革命に関する史料を多く所蔵しています。辛亥革命100周年にあたる2011年にはNHKの取材班が撮影に入り、史料や展示室がテレビで放映されるなど、メディアにも注目されている施設です。

ながさききんたいこうりゅうしそんぶんうめやしよきち
長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム 長崎県・長崎市



孫文と、彼を生涯にわたり物心両面で支え続けた長崎県出身の実業家・梅屋庄吉との国境を越えた友情の歴史などを紹介する施設です。

【史料紹介】



そんぶんへんがくはくあいこうじん
孫文扁額「博愛行仁」

民蔵にあてて書かれ、宮崎兄弟生家に遺された孫文の扁額で「広く平等に人を愛する」という意味です。孫文は「博愛」の二文字を好み、求められるとよくこれを書いたといわれますが、この扁額は「博愛行仁」であり他には見られず、宮崎兄弟との深い交わりを表すものと言えます。

かくめいかどうしよせが
革命家同志の寄書き

こうこうはくめいか
黄興をはじめとした革命家たちの署名や言葉が記された掛軸。

なんかいか
何回にもわたって書かれたものと考えられ、滔天の家を訪れた中国の革命家たちが次々に書いたと伝わっています。

とうてんおおちゆうこくかくめいか
滔天が多くの中国の革命家たちと交流していたことがわかる史料です。

